

平成25年6月 19 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 都留高校 芦沢 友也

2. 講師氏名: Dr.Thomas Spallek

3. 同行者氏名: _____

4. 実施日時: 平成 25 年 5 月 24 日 (金) 13:06 ~14:56

5. 参加生徒: 3 年生 32 人、 年生 人、 年生 人 (合計 人)
備考: (例:理数科の生徒) SSH

6. 講演題目: (英文) 「Transcriptional dissection of the parasitic plant
Striga asiatica in rice

(和文)

7. 3年生になって初めてのフェロー講演会であった。今回は寄生植物『ストライガ』についての講義であった。最初は講師のトーマス先生の母国であるドイツのことや、勤務先の理化学研究所がある横浜のことを含めて自己紹介していただいた。「なぜ植物のことを研究しているのか」や「植物はどのようにして二酸化炭素を固定しているのか」「ストライガとはどのような植物であるか」などについてお話いただいた。随所で動画を用意していただき、ストライガが他の植物に寄生して成長する動画に、生徒たちは驚いていた。ストライガの生息地や寄生する植物の紹介をしていただいた。ストライガはとても小さく、直径わずか 20 μ mであり、米粒よりもずっと小さいことを知った。ライフサイクルは半年であり、どのようなDNAを持っているのかを教わった。

8. 使用言語: 英語

9. 講演形式:

(1) 講演時間 120 分 質疑応答時間 25 分

(2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による公園

(3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)

(4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)

英語教員、理科教員作成プリント

10. 学校からの支給経費(該当がある場合):

11. その他特筆すべき事項: